

医師・コメディカル統合的人材育成拠点形成

(実施期間：平成 21～25 年度)

実施機関：神戸大学（総括責任者：福田 秀樹）

プロジェクトの概要

神戸大学大学院医学研究科を中心として兵庫県等の協力の下、地域医療に従事するコメディカルが容易に高度専門教育を受けることができる地域再生人材育成拠点の形成を計画する。地域医療及び災害医療の現場で機能的スキルミクスを実現できるエキスパート・コメディカルを育成する。本育成プログラムの修了者は、各地域医療機関において地域・災害医療のリーダーとしての役割を果たすことが期待され、県内全体をフィールドとした循環型の配置・育成システムを構築することができる。

(1) 評価結果

総合評価	進捗状況	人材養成手法の妥当性	実施体制・自治体等との連携	人材養成ユニットの有効性	継続性・発展性の見通し
A	a	a	a	a	b

総合評価：A（所期の計画と同等の取組が行われている）

(2) 評価コメント

本プロジェクトは所期の計画に沿って概ね適切に取組が行われていると評価できる。今後は、地域のニーズに応えるために広報活動を強化して養成人員を増やすことや、修了者の継続的なアフターケアを含めてコメディカルの高いレベルでのスキルミクスを実現し、地域・災害医療のリーダーとして真の実力を備えた人材を養成することを期待する。

- ・ **進捗状況**：取組全体としてミッションステートメントの目標値を超える修了者を輩出している点は評価できる。今後は、「災害・救急医療」、「高齢者医療」コースでの受講者、及び所期に計画していた退職者からの受講者等の増員を図ることを期待する。
- ・ **人材養成手法の妥当性**：受講生・所属機関長のアンケート、外部評価委員会の提言を踏まえてプログラム運営の改善を施しながら、医療内容の異なる5コースに看護師、臨床検査技師など職種毎に少人数教育の手法を設定し取組を進めていることは評価できる。受講者間で基礎知識やスキルに差が見られるとの指摘もあり、今後は真のリーダー養成に向けて授業内容との整合をより高めることを期待する。
- ・ **実施体制・自治体等との連携**：大学・付属病院と兵庫県がプログラムの運営、広報活動などで連携した実施体制をとっている点を評価する。今後は、地域の小病院からも受講できるシステムとするために兵庫県の積極的な関与を期待する。
- ・ **人材養成ユニットの有効性**：本プロジェクトでは兵庫県内の地域医療に従事するコメディカルから受講者を募っており、その成果が地域医療に反映する仕組みとなっている点は評価で

きる。修了者に当初目標のスキルミクスが実現し、地域・災害医療のリーダーとしての実力が養成されたかは現状での判断が難しいため、今後は、継続的なアフターケアを期待する。

- ・ **継続性・発展性**の見通し：大学の研究科に設置された関連講座と兵庫県が協力し、本プログラム終了後にも事業を継続する見通しであることは評価できる。しかし、事業の積極的な継続に向けては、地域の医療機関に受講生の代替要員を派遣するなどの工夫や、後継体制の財源確保に一層注力するなど、地域医療充実のために更なる取組が必要である。